

# 宇都宮市つながりサポート女性支援事業【栃木県宇都宮市】

## 地域の実情と課題

- ・ コロナ禍により、DV被害の潜在化や不安を抱える女性の増加が懸念されることから、相談窓口の周知強化に取り組んでいるが、女性相談所における令和2年度相談件数は、2,342件と横ばいの状況であり、同相談窓口の認知度は52.9%と、半数程度に止まる。
- ・ 支援が十分に行き届いていない女性に対しての相談支援体制の強化を図るため、新たに、専門的知識を有するNPOによる相談窓口の開設や、宇都宮市女性相談所など既存の相談窓口については、更なる周知に取り組む必要がある。

## 事業の特徴

- ・ 専門的知識を有するNPOによる相談窓口の開設。
- ・ 新設した相談窓口やNPO団体が行うフードドライブ支援イベント等において、相談窓口での生理用品の提供により相談へと誘導し、関係機関等と連携しながら、支援体制の拡充につなげていく。
- ・ 不安を抱える女性への対応については、宇都宮市虐待・DV対策連携会議の活用により、適切な支援に繋げる。
- ・ 市民の身近な場所で支援に取り組むNPO団体との連携を図ることで、本市における官民連携や地域連携による相談・支援体制の更なる強化を図る。

## 事業の効果

- ・ 孤立・潜在化している中で、小さな不安や悩みを抱える女性を、これまで以上に相談へと誘導し、本市の行政支援のみならず、支援団体や関係機関等のケアサポートなど適切な支援につなげることで、迅速な課題の解消を図ることができた。
- ・ 実績：常設相談窓口（令和3年9月～令和4年3月末）相談者202名や臨時相談窓口（合計7回）相談者389名。
- ・ 市民の身近な場所で支援に取り組むNPO団体との連携を図ることで、本市における官民連携や地域連携による相談・支援体制の強化を図ることができた（NPO等56団体）。

## 目的・目標

- 不安を抱える、支援が十分に行き届いていない女性に対しての相談支援体制の強化を図るため、新たに、専門的知識を有するNPOによる相談窓口の開設や、宇都宮市女性相談所など既存の相談窓口については、更なる周知に取り組む。
- ・ イベント開催回数 9回
- ・ 「宇都宮市配偶者暴力相談支援センター」の認知度 100%

## 連携団体

- ・ 令和3年度「宇都宮市つながりサポート女性支援事業」協力団体（56団体）  
【内訳】：医療機関5，高齢者関係3，保健・福祉6，若者関係3，地域包括支援センター6，子ども関係20，その他13，
- ・ 宇都宮市虐待・DV対策連携会議  
【内訳】：宇都宮地方法務局，栃木県警察，市民生委員児童委員協議会，市社会福祉協議会など全20団体

## 今後の課題

- ・ 当事業の実施状況から、「女性相談所」の認知度の向上や、身近な場所で活動する様々な分野のNPO団体等との協力連携により、孤立化が懸念された女性の掘り起こしに一定の効果が見られたことから、4年度以降も事業を継続する必要がある。
- ・ 市とNPOが、女性相談支援に一体的かつ効果的に取り組むため、協力・連携と情報共有を図るしくみを構築する必要がある。

# 事業の概要

## 宇都宮市つながりサポート 女性支援事業 (相談フロー イメージ図)

